

第1号報告 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会 令和6年度事業報告

令和4年度に策定した令和7年度までの4年間を計画期間とする「島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進行動計画（マスタープラン、アクションプラン）」にもとづき取り組みを推進した。

調査・研究・交流事業として、日本ジオパークネットワーク関係では、下北ジオパークで開催された「第14回日本ジオパーク全国大会下北大会」に参加したほか、通常総会やジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会、伊豆半島ジオパークでの全国研修会、山陰海岸ジオパークでの中四国近畿ブロック研修会、南紀熊野ジオパークでの初任者研修会などに参加した。このほか、当地域の地質・地形と関わりがある特徴的な生物・生態や歴史・文化をサイトカード（説明書）にまとめる作業や、地質サイトモニタリング、パートナーシップ協定の締結に取り組んだ。

地質サイトの「手結のスランプ褶曲」が松江市指定文化財（天然記念物）に指定されたことで、貴重な地質遺産が法令で保全されることになった。

広報・宣伝事業は、重点取組として観光客向けの1泊2日のツアー商品2本を販売したが、最少催行人数に満たず中止した。今回のツアーの反省点などをふまえ内容の改善を図り、来年度以降も継続してツアー商品を販売していく。

イオン松江ショッピングセンターとアトネスいずもで貝殻アクセサリーづくり体験やジオパーク展示などを行い、多くの方々に参加いただいた。

国引きフォトコンテストを開催し、「大地部門」「動植物部門」「歴史と文化部門」で募集したところ、3部門で合計161作品を応募いただき、ジオパークのPRにつなげることができた。

看板については、ビジターセンターや地質サイト誘導看板、地質サイト説明看板を計5基新設した。

このほか、ジオパークホームページとパンフレットのリニューアルや、会報誌3回の発行などに取組んだ。

普及啓発・教育活動は、地域住民向け自然体験イベントとして美保関トレッキングを開催したが、立久恵峡でのイベントは台風接近により中止した。

ジオガイド養成講座と認定試験、4年間のジオガイド認定期間を更新するための研修会、地域団体や学校への補助金交付も昨年度から継続して取り組んだ。

ジオパーク活動を推進するにあたり、半島振興広域連携促進事業費補助金や島根県自然公園を活用した誘客促進補助金、ジオパークサポーター会費収入などを活用した。

1 管理運営

(1) 新規加入会員

出雲国ジオガイドの会（加入年月日：5月16日）

(2) 会議開催

1) 令和6年度臨時総会（書面表決）

議決日：8月6日（水）

会員総数：58

議決された報告及び議案：

①報告事項

第1号報告 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会新規加入会員について **承認 58・不承認 0**

②議案

第1号議案 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会令和5年度一般会計決算 **承認 58・不承認 0**

2) 専門部会

①学術・研究部会 ※部会長 入月俊明（島根大学） 部会員 11名

第1回：7月23日（火） 第2回：1月23日（木）

②観光・広報部会 ※部会長 稲根克也（出雲観光協会） 部会員 28名

第1回：6月5日（水） 第2回：1月28日（火）

③保全・教育部会 ※部会長 辻本彰（島根大学） 部会員 22名

第1回：10月30日（水） 第2回：2月7日（金）

3) 幹事会 第1回：3月17日（月）

4) 事務局会議

第1回：4月26日（金） 第2回：5月27日（月）

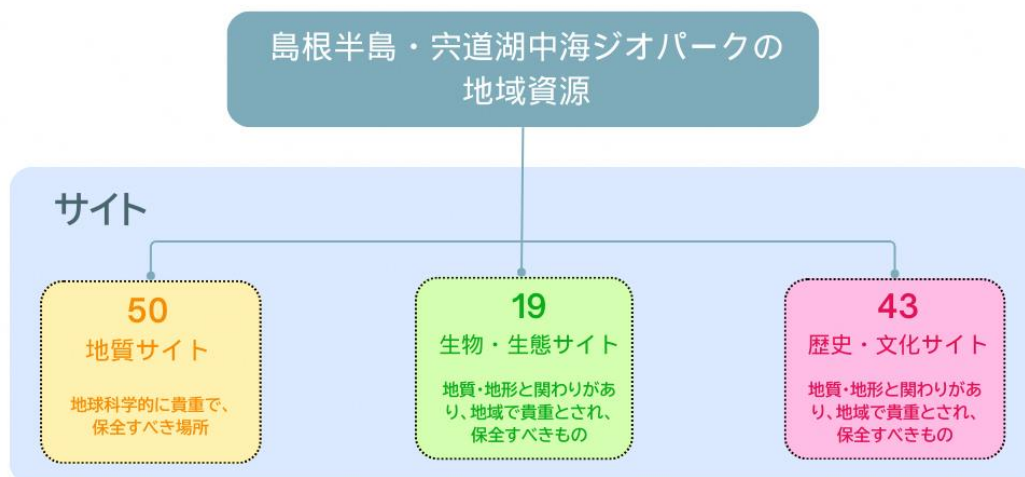
第3回：7月10日（水） 第4回：9月27日（金）

第5回：1月10日（金）

2 調査・研究・交流事業

(1) 生物・生態サイトと歴史・文化サイトの選定

令和4年度から継続して生物・生態サイトと歴史・文化サイトの選定に取組み、ジオパーク学術・研究部会などで意見をいただき選定に至った。また、各サイトの説明書も作成した。



【生物・生態サイト】

	サイト名	エリア
1	島根半島と植物	島根半島 エリア
2	対馬暖流と島根半島の海生生物	
3	島根半島とウップルイノリ	
4	桂島のシロウマアサツキ	
5	経島とウミネコ	
6	特異な湖「宍道湖」	宍道湖中海 低地帯 エリア
7	宍道湖で見つかったシンジコハゼ	
8	宍道湖とヤマトシジミ	
9	湖の恵み「宍道湖七珍」	
10	ラムサール条約と宍道湖・中海	
11	冬の使者コハクチョウ	
12	天然記念物マガンとヒシクイ	
13	嫁ヶ島と松	
14	大根島の溶岩トンネルと生物	南部丘陵 山地エリア
15	野鳥の宝庫斐伊川河口	
16	立久恵峡の植物群落	
17	イズモコバイモ群生地	
18	近年確認されたイズモサンショウウオ	
19	神戸川の四手網漁	

【歴史・文化サイト】

①無形遺産等

	サイト名	エリア
1	島根半島四十二浦巡り	島根半島 エリア
2	『出雲国風土記』の国引き神話	全体
3	門部王の万葉集	



サイト説明書

【歴史・文化サイト】

②有形遺産等

	サイト名	エリア
1	美保関灯台	島根半島 エリア
2	青石畳通りと美保神社	
3	権現山洞窟遺跡、サルガ鼻洞窟遺跡	
4	加賀港	
5	華蔵寺	
6	真山城跡	
7	朝日山、佐太神社	
8	佐陀川	
9	佐太・講武貝塚	
10	一畑寺	
11	立石の巨石	
12	久多美石	
13	韓竈神社	
14	鱈淵寺、浮浪滝	
15	猪目洞窟	
16	出雲大社	
17	鷺浦港	
18	宇龍港	
19	出雲日御碕灯台	
20	日御碕神社	

	サイト名	エリア
21	掛屋干拓地	宍道湖中海 低地帯 エリア
22	塩楯島	
23	松江城	
24	小泉八雲旧居	
25	築地松	
26	高瀬川	
27	長浜神社	
28	稲佐の浜	
29	神西湖	南部丘陵 山地エリア
30	八雲立つ風土記の丘	
31	茶白山	
32	熊野大社	
33	玉造温泉	
34	石宮神社、女夫岩遺跡	
35	湯の川温泉	
36	仏経山	
37	荒神谷遺跡	
38	西谷墳墓群	
39	須佐神社	
40	田儀櫻井家たたら製鉄遺跡	

(2) パートナーシップ協定締結

相互に役割分担を明確にしてジオパーク活動を推進するため、今年度は6団体とパートナーシップ協定を締結し、累計で17団体となっている。

	団体名 (敬称略)	協定締結日	締結年度
1	国立大学法人島根大学	令和4年9月2日	令和4年度 (3)
2	加賀まるごと博物館	令和5年2月20日	
3	一般社団法人出雲観光協会	令和5年3月27日	
4	ミサキどっと Come	令和5年9月28日	令和5年度 (8)
5	一般社団法人加賀潜戸遊覧船	令和5年9月29日	
6	神社ガールズ研究会	令和5年10月6日	
7	出雲国ジオガイドの会	令和5年11月9日	
8	海の楽校	令和5年11月30日	
9	出雲ターミナル株式会社	令和5年12月12日	
10	小泉八雲記念館	令和6年3月14日	
11	公立大学法人島根県立大学	令和6年3月14日	令和6年度 (6)
12	中海漁業協同組合	令和6年7月1日	
13	宍道湖漁業協同組合	令和6年8月1日	
14	宍道湖魚類研究会	令和6年10月1日	
15	島根県地学会	令和6年10月15日	
16	このはなプラン	令和6年12月20日	
17	島根半島四十二浦巡り再発見研究会	令和7年3月3日	

(3) 「手結のスランプ褶曲」の松江市指定文化財（天然記念物）への指定

地質サイトに指定している松江市鹿島町手結にある「手結（たゆ）のスランプ褶曲（しゅうきょく）」が、7月30日に開催された松江市文化財保護審議会で松江市指定文化財に指定するように上定松江市長に答申され、8月9日に指定された。

松江市指定文化財として地質遺産は初めてであり、市指定文化財に指定されることで、その学術的価値を広く周知できるとともに、将来にわたって適切に保全されていくようになる。

[指定理由]

「手結のスランプ褶曲」は、約1600万年前の海底で起こった地すべりによって生じた特異な変形を示す地層をいう。その変形はコンパクトに完結しており、海底での地層の変形過程を陸上で観察することができる点で非常に学術的価値が高い。また、このスランプ褶曲は、形成時に地層が折れて壊れたりすることが殆どなく、可塑的に折り畳まれ、独特な褶曲美を作り出している極めてまれな例であることもその特質的価値として挙げられる。



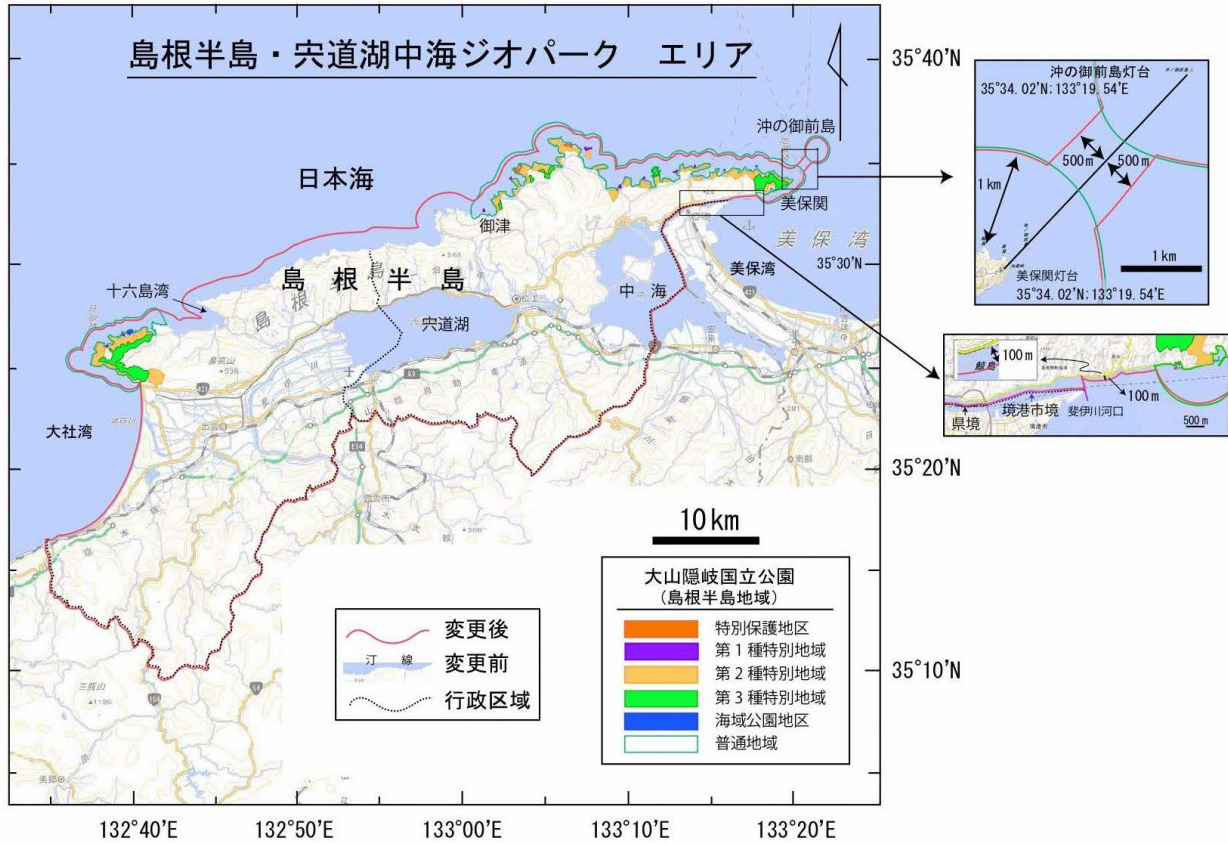
手結のスランプ褶曲

(4) 島根半島・宍道湖中海ジオパークエリアの拡大

島根半島・宍道湖中海ジオパークエリアは松江市と出雲市全域であるが、島根半島の日本海沿岸にある沖の御前島や築島、礫島などの離島を含め、一筆書きで描けるエリアとする必要があることから、来年度の再認定審査に向けてエリア拡大の見直しを行った。

日本ジオパーク委員会にエリア拡大の変更申請書を提出しており、本年5月に審議される

予定である。



■現在のエリア面積 1,197.35 km²
 ■変更後のエリア面積 1,339.23 km² ■エリア拡大面積 (日本海域) 141.88 km²

(5) 地質サイトのモニタリング

松江市・出雲市の地質サイト 15ヶ所におけるモニタリングを出雲国ジオガイドの会の協力を得て実施した。

【モニタリング実施場所】

	地質サイト	エリア	市域	区分
1	桂島	島根半島	松江	令和4年度から継続
2	法田海岸	島根半島	松江	
3	出雲平野・斐伊川	宍道湖中海低地帯	出雲	
4	立久恵峡	南部丘陵地	出雲	
5	千酌海岸の波食棚	島根半島	松江	令和5年度から継続
6	須々海海岸の洗濯岩	島根半島	松江	
7	小伊津の砂泥互層	島根半島	出雲	
8	赤浦海岸	島根半島	出雲	
9	宍道湖	宍道湖中海低地帯	松江	
10	小田海岸の貝化石	南部丘陵地	出雲	令和6年度新規
11	手結のスランプ褶曲	島根半島	松江	
12	御津海岸の生痕化石	島根半島	松江	
13	多古の石柱	島根半島	松江	
14	日御碕	島根半島	出雲	
15	十六島の海食崖	島根半島	出雲	

※千酌海岸（松江市美保関町）でのモニタリング実施による海岸漂着ごみ（ガスボンベ）の撤去

ジオガイドが千酌海岸のモニタリングでガスボンベの漂着ごみを発見し、放置しておくことは問題ではないかとジオパーク推進協議会事務局に連絡があった。

ジオパーク推進協議会から海岸を管理している松江市に連絡し、その日に撤去してもらった。



(6) 島根半島・宍道湖中海ジオパークサポーター（ジオサポ）加入状況

①個人賛助会員：342名（前年度実績：435名、前年度比△93名）

②企業・団体賛助会員：5団体（前年度実績：5団体）

〈加入団体名〉中海漁業協同組合、日本海テレビジョン放送株式会社、
一畑電気鉄道株式会社、出雲ターミナル株式会社、
株式会社山陰中央新報社

(7) JGN（日本ジオパークネットワーク）、JGC（日本ジオパーク委員会）関係

1) 会議・研修会参加状況

日程	内容	会場	参加者
5月25日(土)	JGN 運営会議	千葉県千葉市	今岡事務局次長
6月20日(木) ～7月4日(木)	日本ジオパーク委員会主催ジオパーク基礎研修会(計4回)	オンライン	岡事務局員
7月5日(金)	JGN 第17回通常総会	東京都	福田事務局員
	ジオパークによる地域活性化推進議員連盟第9回総会		
7月6日(土)	JGN 全地域事務局長会議	東京都	福田事務局員
8月30日(金)	JGN 運営会議、全地域事務局長会議	青森県むつ市	野村専門員
8月30日(金)～ 9月1日(日)	第14回日本ジオパーク全国大会下北大会	青森県むつ市	野村専門員、永田事務局員、渡邊・召古・高田が1名
10月1日(火)	2024年度日本ジオパーク委員会現地調査員研修会	オンライン	福田・岡・中村事務局員
10月23日(水)～ 24日(木)	JGN 中四国近畿ブロック研修会	兵庫県豊岡市	福田事務局員、渡邊・松原が1名
11月5日(火)	JGN 第33回オンラインカフェ 「サイトの設定や整理、どうしていますか？」	オンライン	福田・永田事務局員
11月12日(火)～ 14日(木)	令和6年度ジオパーク初任者研修会 in 南紀熊野	和歌山県東牟婁郡串本町	岡事務局員

12月8日(日)～ 10日(火)	JGN 第19回全国研修会 in 伊豆半島		福田・小村事務 局員
1月30日(木)	2024年度日本ジオパーク委員会現地調査員 研修会	オンライン	福田・永田事務 局員
2月28日(金)	2024年度第1回JGN研修会 「ジオパークネットワークを生かした被災地支 援への可能性について」	オンライン	福田・永田事務 局員



JGN全国大会での召古ジオガイド
の口頭発表



JGN全国研修会 in 伊豆半島

2) GEOPARK magazine2024 Vol.12 への記事掲載

掲載内容：①ジオガイド紹介（山田和彦ジオガイド）

②読者プレゼント提供（ジオブランド商品詰め合わせ）

(8) 3 ジオパーク（隠岐、山陰海岸、島根半島・宍道湖中海）連携事業

1) BSS ラジオ「中四国ライブネット」出演

今年度で5年目の取組であり、隠岐、山陰海岸ジオパークと合同でジオパークの魅力をラジオで中四国エリアに発信した。

会場：BSS 本社（米子市）

日時：3月2日（日）18:00～20:00

出演者：松原慶子ジオガイド、船越さちよジオガイド

内容：島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介

美保関と大根島のみどころ、自然、歴史・文化について

2) 3 ジオパーク合同研修会

例年行っている本研修会については、今年度は中止となった。

(9) 神話の縁結びかみがたりネットワーク講演会・エクスカージョンへの参加

日時：4月10日（水）～11日（木）

会場：新潟県糸魚川市 ヒスイ王国館ほか

参加自治体：出雲市、諏訪市、糸魚川市

ジオパーク推進協議会参加者：小林会長代行、加村事務局員

3 広報・宣伝事業

(1) 看板整備

ジオパークをPRする看板について、5基を新設し、3基をリニューアルした。

1) 新設

①地質サイト解説看板

設置数：2基 設置場所：立久恵峡

手結のスランプ褶曲



手結のスランプ褶曲看板

②ビジターセンターや地質サイトへの誘導看板

設置数：3基

看板内容（カッコ内は設置場所）

- ・松江ビジターセンター誘導看板（松江市西持田町）
- ・日御碕ビジターセンターへの誘導看板（出雲市大社町中荒木）
- ・小伊津海岸と唯浦への誘導看板（出雲市上岡田町）



立久恵峡解説看板



松江ビジターセンターへの誘導看板



日御碕ビジターセンターへの誘導看板

2) 既設看板のリニューアル

①ジオパーク総合解説看板

設置数：1基 設置場所：松江市島根町のマリンプラザしまね横

リニューアル理由：経年劣化

②ジオパークエリアに入ったことが分かる看板

設置数：2基 設置場所：松江市東本町、出雲市平田町

リニューアル理由：広告掲出期間の更新により、広告事業者が無料で実施



出雲市平田町設置看板のリニューアル

(2) 島根半島・宍道湖中海ジオパークツアー商品販売

株式会社日本旅行 TiS 松江支店や出雲国ジオガイドの会の協力を得て、観光客を対象にジオパークツアー商品を販売し、SNS 広告、県外の道の駅や島根県事務所にチラシを配布するなどのPRを行ったが、申込がなく最少催行人数に満たなかったため中止した。SNS 広告の反応は良かったものの、申込が無かった原因は、旅程が1泊2日と長かったことや、旅行代金が高かったことが考えられ、今回の反省点を今後のツアー内容に反映していく。

1) えびすだいこく両参り～神話と大地の物語～

出発日：10月19日（土）1泊2日

コース：1日目 JR松江駅 = 大根島の竜溪洞 = 美保関灯台 =
美保神社 = 美保館で夕食 = 松江市内ホテル

2日目 松江ビジターセンター = 加賀潜戸観光遊覧船 =
神門通り = 出雲大社ご祈祷

募集人員：20名（最少催行人員18名）

旅行代金：おひとりあたり46,000円

※最少催行人数に満たず中止した。

2) スサノオの聖地をめぐる旅～出雲の国の成り立ちの秘密～

出発日：11月2日（土）1泊2日

コース：1日目 JR松江駅 = 八重垣神社 = 来待ストーンミュージアム =
須佐神社 = 立久恵峡 = 出雲市内のホテル

2日目 稲佐の浜 = 出雲大社 = ガーブクリフテラス出雲（昼食）
= 越堂たたら跡 = 岩坪明神 = 久武神社・稲城など =
出西窯 = JR出雲市駅

募集人員：20名（最少催行人員18名）

旅行代金：おひとりあたり39,000円

※最少催行人数に満たず中止した。



(3) 国引きフォトコンテスト

法政大学「令和5年度地方共創プログラム」での学生からの提案を受け、島根半島・宍道湖中海ジオパークの魅力を広く発信するために開催した。

募集部門：①大地部門 ②動植物部門 ③歴史と文化部門

募集期間：令和6年8月1日（木）～令和7年1月31日（金）

応募方法：応募者一人につきInstagramまたはEメールのいずれかで応募。

募集部門ごとに一人一作品とする。

表彰：募集部門それぞれに賞を授与する。

①最優秀賞1名 ②優秀賞3名 ③次世代が選ぶ特別賞5名

※国引きジオブランド商品を賞に応じて贈呈する。

審査員：プロカメラマン 赤山シユウ 氏、松江市立皆美が丘女子高等学校生徒

応募結果：合計161作品

内訳 ①大地部門66作品 ②動植物部門39作品 ③歴史と文化部門56作品

最優秀賞作品：

①大地部門

「悠久の孤高」



②動植物部門

「経島の宝物」



③歴史と文化部門

「横から見た築地松」



※松江市立皆美が丘女子高生徒 8 名に「次世代が選ぶ特別賞」の審査を依頼するにあたり、ジオパーク学習を実施した。

①現地学習

日程：11月11日（月）
会場：竜溪洞（松江市八束町）
講師：小灘ジオガイド

②学習会

日程：1月20日（月）
会場：松江市立皆美が丘女子高
講師：永田事務局員

(4) ジオパークパンフレットのリニューアル

ジオパークの説明追加や、令和4年度に行った地質サイトの見直しなどを反映し、ジオパークパンフレットのリニューアルを行った。



(5) ジオパークホームページのリニューアル

当ジオパークホームページは、平成30年度に開設しており、現在のトレンドと比べて仕様が古くなっていることや、トップページが整理されておらず閲覧しづらいこと、また、英語など多言語に対応するため、リニューアルを行った。



(6) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク通信（会報誌）の発行

当ジオパークの貴重な地質遺産や活動、活躍されている皆様、アクティビティなどを紹介する会報誌を3号発行した。

発行号：Vol.8（8月号）、Vol.9（11月号）、Vol.10（2月号）
印刷部数：各号2,550部



Vol.8

Vol.9

Vol.10

(7) ジオパークの日イベント「つくって楽しいジオパーク！」の開催

ジオパークPRのための室内イベントを開催し、子ども連れの家族など多くの方々に来場いただいた。

日時：8月24日（土）と8月25日（日）10:00～16:00
会場：イオン松江ショッピングセンター
イベント内容：

【8月24日】貝殻アクセサリーづくり体験

体験時間：①10:30～②11:30～③13:30～
④14:30～⑤15:30～

参加者数：小中学生以下（各回8名）

参加料：500円★

参加者数：42名



【8月25日】ジオパーク和菓子づくり体験

「日本一低い火山 大根島」

体験時間：①10:30～②11:30～③13:30～
④14:30～⑤15:30～

参加者数：小中学生以下（各回8名）

参加料：700円★

参加者数：42名



★ジオサポ会員またはイオン松江ショッピングセンターLINE公式アカウントお友だち登録者は200円引き

【8月24日と25日の両日】

○穴道湖のしじみ無料配布

先着35名限定 配布開始時間10:00

○ジオパーク缶バッジづくり

参加料無料

参加者数：314名

内訳 8月24日 大人58名 こども81名

8月25日 大人79名 こども96名

○ジオパーク動画の上映や展示



(8) 日御碕往来復活記念 ものづくり体験イベント

昨年7月の大雨の影響で全面通行止めになっていた日御碕について、9月から仮設迂回道路が開通したことを記念して、日御碕をはじめとするジオパークをPRする室内イベントを開催し、多くの方々に来場いただいた。

日程：10月19日（土）10:00～16:00

会場：アトネスいずも

内容：貝殻を使った海の世界作り体験、缶バッジづくり体験、ジオグッズガチャガチャ抽選会、ジオパーク展示やグッズ配布

参加者数：114名



(9) 出雲ケーブルビジョン「ミライへ～出雲新話 2030～」での島根半島・宍道湖中海ジオパーク特集の放送

ジオパークの説明のほか、当地域の大地の成り立ち、地質サイト、ジオガイドなどを紹介した。

放送日程：8月27日（火）、31日（土）※15分番組

出演者：小村事務局員、渡邊ジオガイド



(10) [世界仮想旅行社主催]【地球から見る、日本の旅 第31回】島根半島・宍道湖中海ジオパーク編の配信

全国各地のジオパークで活躍するジオガイドがとっておきの旅を案内するオンラインツアー『地球から見る、日本の旅』が2021年から始まっており、このたび初めて島根半島・宍道湖中海ジオパークが登場し、日本でも屈指の低さを誇る火山の島「大根島」、そこにある竜溪洞や牡丹などについて全国に発信した。

日時：8月18日（日）20:00～21:00

内容：八百万の神が集う国・地下に広がる洞窟で出会う世界

担当ガイド：松原慶子ジオガイド

参加料：1,000円（1か月間のアーカイブ見逃し配信あり）

当日の視聴者：54名

(11) ジオパークオリジナルポロシャツ販売

ジオパークをPRするオリジナルポロシャツを今年度も販売し、昨年度並みの販売枚数であった。

販売価格：1,800円（税込）

申し込み数587着（令和5年度592着、前年度比△5着）

(12) スポーツイベントへの協賛

当ジオパークで開催されたスポーツイベントについてPRのため協賛した。

①2024第30回えびす・だいこく100kmマラソン

日程：令和6年5月26日（日）

②島根半島東部ナショナルパークライド2024

日程：令和6年11月24日（日）

③2025第42回出雲くにびきマラソン大会

日程：令和7年3月2日（日）



くにびきマラソン協賛広告

(13) 科学の祭典2024 科学の縁結び祭りでのブース出展

ブースの一つとして、阿部國廣ジオガイドが、ジオガイドの方々と島根大学総合理工学部の学生たちと「出雲平野と宍道湖のでき方を実験で確かめよう」を出展された。

日時：7月27日（土）・28日（日）9:30～16:00

場所：出雲科学館



(14) 松江ビジターセンターでのジオパーク鉛筆画作品の展示

「ジオパーク（山陰の海岸）の風景」と題した鉛筆画作品5点を松江ビジターセンターに展示した。

作者は、境海上保安部の平山浩次長で、平成30年から鉛筆画を描き始め、勤務していた淡路島、香川県、愛知県渥美半島をはじめ、現在は山陰地方の風景をメインに描き続けておられる。



◆鉛筆画作品リスト◆

- ①題名：波濤（場所：松江市美保関町 千酌海岸）
- ②題名：青と藍（場所：松江市美保関町 惣津海岸）
- ③題名：海鳴りの日（場所：出雲市大社町 日御碕経島）
- ④題名：神々を迎えて（場所：出雲市西園町 菌の長浜）
- ⑤題名：天まで届け（場所：出雲市乙立町 立久恵峡）

(15) ビジターセンター来場者数（令和6年4月～令和7年2月末）

- ①松江ビジターセンター 5,949名（前年度同期間比 854名増）
- ②日御碕ビジターセンター 20,360名（前年度同期間比 387名増）

(16) ホームページ、SNSでの情報発信

イベントの告知や活動報告などについて、ホームページやSNSで随時情報発信を行った。

- ①島根半島・宍道湖中海ジオパークホームページトップページ閲覧回数：
14,356回（令和6年4月1日～令和7年2月28日）
- ②Facebook フォロワー数： 1,664名
- ③Instagram フォロワー数： 624名
- ④ジオサポ公式LINE 友だち数：201名

(17) ノベルティグッズの新規作成

当ジオパークのノベルティグッズとして、これまでボールペン、クリアファイル、エコバッグ、付箋、ティッシュを作成しており、今年度新たに半永久鉛筆を作成した。これらのノベルティグッズを活用し、PRを行っていく。



(18) 島根半島・宍道湖中海ジオパークカード（ジオカード）の配布

令和2年度からジオカードを配布しており、ノーマルカード3種類を集めた方にはレアカード2種類を配布している。

【ノーマルカード】

- ①日御碕（配布場所：日御碕ビジターセンター）
- ②加賀の潜戸（配布場所：松江ビジターセンター）
- ③大根島（配布場所：中村元記念館）

【レアカード】令和6年度配布人数：27名

- ①水
- ②中四国近畿ブロック



4 普及啓発・教育活動

(1) ジオパーク探検隊～美保関ジオトレッキング

一般社団法人松江観光協会美保関町支部や出雲国ジオガイドの会の協力を得て、松江市での自然体験イベントとして美保関トレッキングを開催した。

日時：10月12日（土）10:00～14:30

コース：五本松公園～青石畳通り～美保神社～昼食（あさひ館と福間館かもめ亭）
～地藏崎・美保関灯台

対象者：小学校5年生以上

参加者数：15名



(2) ジオパーク探検隊～立久恵峡満喫ツアーの開催中止

くにびき自然学校や株式会社日本旅行 TiS 松江支店、出雲国ジオガイドの会の協力を得て、出雲市での自然体験イベントとして立久恵峡イベントを企画したが、台風10号の接近により開催を中止した。

日時：8月31日（土）8:30～14:00

会場：立久恵峡わかあゆの里

参加対象者：小学校4～6年生とその保護者

申込数：28組84名

参加を予定していた人数：15組44名（抽選により参加者決定）



(3) ロングトレイルコースの検討

中国自然歩道を中心とする島根半島を横断するロングトレイルコースを検討しており、コースやその周辺の地質サイト、トイレ、飲食店などを掲載したマップを作成する予定である。令和4年度からコースや周辺情報の確認を続けており、今年度は美保関灯台から五本松公園までの試歩などに取組んだ。



(4) 島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド養成関係

1) ジオガイド養成初級講座（はじめの一步コース）

当ジオパークの特徴的な「地質・地形」「生物・生態」「歴史・文化」の座学や、松

江・日御碕ビジターセンター周辺でのフィールドワークを通じて基本が学べる講座。

申込者：22名 修了者：18名

	日時	会場	内容	講師
第1回	8月3日(土) 10:00～11:30	JA しまね 平田中央支店	島根半島・宍道湖中海ジオパークとは?	・島根大学学術研究院環境システム科学系 入月俊明 教授
第2回	8月3日(土) 12:30～14:00		ジオパークの理念と保護保全	・島根大学大学院教育学研究科教育実践開発専攻 松本一郎 教授
第3回	8月24日(土) 9:30～11:00	松江市民活動センター201・202 会議室	島根半島・宍道湖中海ジオパークの植物	・島根県立三瓶自然館サヒメル 井上雅仁 副館長
第4回	8月24日(土) 11:15～12:45		国引き神話と文化サイト	・島根大学総合博物館 会下和宏 館長
第5回	9月14日(日) 13:00～16:00	松江ビジターセンター、桂島	フィールドワーク (松江市)	・島根大学学術研究院環境システム科学系 大平寛人 准教授
第6回	9月29日(日) 13:00～16:00	日御碕ビジターセンターほか	フィールドワーク (出雲市)	・島根大学教育学部理科教育専攻 辻本彰 准教授 ・島根県技術士会 大嶋辰也 副会長



入月先生の講演



桂島フィールドワーク



日御碕フィールドワーク

2) ジオガイド養成上級講座 (認定ガイドコース)

ジオガイドの認定をめざす方が受講する講座。はじめの一步コースよりさらに詳しい内容を学ぶことができ、ガイドとしての心構えや手法についても学ぶ実践的な内容となっている。

申込者数：15名 修了者数：14名

	日時	会場	内容	講師
第1回	12月8日(日) 10:00～15:00	阿須伎神社、奉納山	フィールドワーク (出雲市)	・ジオガイド
第2回	12月22日(日) 10:00～15:00	竜溪洞、美保関	フィールドワーク (松江市)	・ジオガイド
第3回	1月19日(日) 10:30～12:00	松江市民活動センター 501・502	国立公園・自然保護について	・環境省松江管理官事務所 澤野崇 国立公園管理官
第4回	1月19日(日) 13:00～16:00		ジオガイドの心構えと手法について	・日本ジオツーリズム協会 福島大輔 会長
※本講座は、スキルアップ研修としてジオガイド4名も参加				
第5回	1月26日(日) 10:30～12:00	JA 平田中央支店	島根半島・宍道湖中海ジオパークの動植	・島根大学 佐藤仁志 非常勤講師

第6回	1月26日(日) 13:00~14:30		ガイドで役立つ地形・地質・岩石の基本	・島根大学学術研究院環境システム科学系 入月俊明 教授
第7回			YouTube 視聴 ユネスコ世界ジオパーク概説	Guy Martini and Asier Hilarrio (日本語字幕付き)



受講者の皆さん



奉納山フィールドワーク



竜溪道洞フィールドワーク

3) ジオガイド認定試験

認定ガイドコースを修了し、かつ救命講習を受講した方を対象にジオガイド認定試験を実施した。

日程：2月22日(土)、23日(日)

会場：22日・松江市市民活動センター、23日・JA平田中央支店

試験内容：筆記試験(60分)、模擬ガイド試験
(10分発表、5分質疑)

試験官：辻本ジオパーク保全・教育部会長、
ジオガイド、ジオ推進協議会事務局

受験者：12名

合格者：11名

模擬ガイド試験の様子



認定期間：令和7年4月1日～令和11年3月31日

4) 認定ジオガイド更新研修

令和7年3月31日で4年間の認定期間が満了となるジオガイドを対象に、更新の是非について本人に意向を確認の上、3本の研修受講をもって認定期間を更新した。

日時：2月1日(土) 10:30~14:30

会場：JAしまね 出雲地区本部 平田中央支店

※会場受講できない方は後日 YouTube 動画を視聴

内容：10:30~12:00 島根半島・宍道湖中海ジオパークの歴史・文化

講師：三代ジオガイド

13:00~14:30 島根半島・宍道湖中海ジオパークの地質・地形

講師：野村専門員

このほか昨年の新名阿津子氏(日本ジオパーク委員)の YouTube 動画を視聴

更新対象者：10名

更新者：8名

野村専門員の講演



5) ジオガイド認定者数：令和6年度62名（令和7年4月1日時点71名、+9名）

(5) 松江市立皆美が丘女子高「まつえ学」

令和3年度より開設している皆美が丘女子高等学校設定科目「まつえ学」は、松江市における地域課題を学んで解決策を探究し、その成果を市長提言にすることによって「ふるさと松江」への愛着と学びを深めている。令和6年度「まつえ学」で2年生が探求していく地域課題のテーマの一つとしてジオパークが採用された。（全体でテーマは8つ）

テーマ：「島根半島・宍道湖中海ジオパークPR大作戦！」

ジオパーク参加グループ数（人数）：2グループ（7人）

スケジュール：①講話1 5月21日（火）

内容：ジオパークについて

講師：福田事務局員

②現地調査 6月25日（火）

内容：松江ビジターセンター、多古の石柱視察

講師：松原ジオガイド

③講話2 10月28日（月）

内容：大地と国引き神話のつながり

講師：松原ジオガイド

④中間発表会 12月10日（火）

⑤校内発表 3月11日（火）

⑥市長提言 3月18日（火）



多古の石柱の視察

(6) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク学術研究奨励事業補助金

島根半島・宍道湖中海ジオパークにかかわる調査研究に対して補助金を交付した。

・交付決定した件数：7件（前年度比3件増） ・補助金合計：698,276円

	団体名・個人名	研究テーマ	交付額
1	松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 城本高輝	島根半島・宍道湖中海ジオパークのワーケーション推進に関する研究	100,000円
2	松江工業高等専門学校 人文科学科 鳥谷智文	島根半島・宍道湖中海ジオパーク地域における産業の特徴と人々の営み	99,882円
3	島根大学構造地質学研究室 向吉 秀樹	島根半島に発達する褶曲および断層の古応力解析	100,000円
4	島根大学生物資源科学部 松田 烈至	本庄水域の塩水流入経路における湖底環境と底生生物群集の現状	100,000円
5	島根大学 生物資源科学部 久保 満佐子 長尾 知輝(修士学生)	島根半島における社叢林の種組成と神社の属性	100,000円
6	島根大学総合理工学部 林 広樹	島根半島における熱帯性大型有孔虫の鉛直分布の解明	100,000円

7	島根大学 自由研究サークルてらこや アントワープ輪ニコラ 指導教官 赤間一仁 塩月孝博	水生生物のマイクロプラスチック誤飲を防ぐ ためのイボカイミジンコの防御機構解明	98,394 円
			698,276 円

(7) 地域活動補助金（普及啓発事業等補助金、推進環境整備事業補助金）

住民団体、自治体、NPO 等が行う島根半島・宍道湖中海ジオパークの普及啓発活動や看板製作・設置に対して補助金を交付した。

・交付決定した団体：9 団体（前年度比 2 団体減） ・補助金合計：899,329 円

	団体名	事業内容	交付額
1	Do the Sea	Do the Sea サーフィンスクール	100,000 円
2	千酌区自治会	千酌海岸清掃事業	100,000 円
3	出雲国ジオガイドの会	出雲国ジオガイドの会 ホームページ制作	100,000 円
4	FREE DREAM	みんなで渡ろう だれでも SUP で嫁が島	99,329 円
5	鱒淵コミュニティセンター	島根半島・宍道湖中海ジオパーク（韓竈神社・猪目洞窟）の啓発	100,000 円
6	株式会社伊勢宮界限元気プロジェクト	野井のクジラ島で遊ぼう！	100,000 円
7	島根半島四十二浦巡り再発見研究会	島根半島の歴史文化再発見講演会開催事業	100,000 円
8	加賀まるごと博物館	桂島フィールドミュージアム構想最終版 「桂島のジオパーク学習 桂島の地質」パネルの作成	100,000 円
9	千酌区自治会	千酌海岸利用に係る看板製作事業	100,000 円
			899,329 円

(8) 学校におけるジオパーク授業バス借上料補助金

松江市及び出雲市管内の学校におけるジオパーク授業への活動支援としてバス借上げ料を補助した。

・交付決定した学校：25 校（前年度比 2 校減） ・補助金合計：3,615,675 円

区分	No,	学校名	交付額
松江市 22 校	1	義務教育学校八束学園	95,535 円
	2	朝酌小学校	0 円
	3	持田小学校	100,980 円
	4	川津小学校	225,000 円
	5	母衣小学校	91,080 円
	6	法吉小学校	219,780 円
	7	内中原小学校	168,300 円
	8	佐太小学校	101,970 円
	9	恵曇小学校	116,820 円
	10	中央小学校	170,280 円
	11	津田小学校	225,000 円
	12	古志原小学校	225,000 円
	13	大庭小学校	89,100 円

	14	竹矢小学校	144,540 円
	15	出雲郷小学校	225,000 円
	16	揖屋小学校	140,580 円
	17	意東小学校	125,730 円
	18	八雲小学校	166,320 円
	19	乃木小学校	225,000 円
	20	忌部小学校	55,440 円
	21	宍道小学校	83,160 円
	22	島根大学教育学部附属義務教育学校	211,860 円
出雲市 3校	23	西野小学校	154,000 円
	24	朝陽小学校	40,700 円
	25	高松小学校	214,500 円
			3,615,675 円

(9) 出前講座、講師派遣など

1) 令和6年度出雲国ジオガイドの会定例総会

日時：5月12日（日）10:20～12:50

会場：古江公民館

参加者：ジオガイド30名、今岡事務局次長、野村専門員、福田・岡事務局員

※当日9:00～10:10に地質サイトの見直し内容を野村専門員から説明

2) 松江市地域おこし協力隊へのジオパーク説明

日時：5月20日（月）13:30～14:00

会場：松江市ジオパーク推進室

参加者：地域おこし協力隊2名、定住企業立地推進課2名、永田事務局員

3) まつえ市民講座・自然安全コース

日時：5月21日（火）13:30～15:00

会場：松江市民活動センターSTIC

参加人数：40名

講師：野村専門員

4) 松江市小学校理科部夏期研修会

日時：7月26日（金）9:00～11:00

会場：松江市千酌海岸

参加人数：10名

講師：野村専門員

5) ふるさと学習講座 松江市島根町町内巡り

日時：8月5日（月）9:40～10:10

会場：松江ビジターセンター

参加人数：18名
講師：野村専門員

- 6) [島根県立青少年の家（サン・レイク）主催]サマーチャレンジ2024
島根半島横断ジオパーク探検隊～自転車でたどる 不思議発見！旅～
日程：8月7日（水）～10日（土）

※ジオパーク対応日程・内容・講師

日程：8月8日（木）

内容：松江ビジターセンターでジオパーク学習

参加人数：17名

講師：松原ジオガイド

- 7) [中海・宍道湖・大山圏域市長会主催]東京大学体験活動プログラム
日程：8月20日（火）～24日（土）5日間

参加学生数：4名

※ジオパーク対応日程・内容・講師

日程：8月23日（金）13:30～14:15

内容：松江ビジターセンター・桂島の見学

参加人数：5名

講師：野村専門員

- 8) 島根地区民生児童委員協議会

日時：9月4日（水）16:20～16:40

会場：ジオパークビジターセンターと桂島

参加人数：55名

講師：野村専門員

- 9) 津田小学校5年生 理科学習補助

日時：9月13日（金）9:00～15:30

会場：意宇川上流～中流

参加人数：70名

講師：野村専門員

- 10) 乃木小学校5年生 理科学習補助

日時：9月17日（火）9:00～15:30

会場：意宇川上流～中流

参加人数：70名

講師：野村専門員

- 11) 大津小学校6年生 理科学習補助

日時：9月18日（水）14:00～15:30

会場：出雲市小伊津海岸

参加人数：100名

講師：野村専門員

- 12) 奥出雲町立横田中学校1年生総合的な学習の時間見学・体験でのジオパークに関する生徒からのインタビュー対応

日時：9月18日（水）11:00～11:30

会場：松江市役所

訪問生徒数：5名

対応者：永田事務局員

- 13) 出雲市高校理科部研修会

日時：9月26日（木）14:30～16:00

会場：出雲市平田高校～小伊津海岸

参加人数：15名

講師：野村専門員

- 14) 内中原小学校6年生 理科学習補助

日時：10月1日（火）9:30～15:00

会場：千酌海岸

参加人数：70名

講師：野村専門員

- 15) オンライン学習支援「ボタンねっと」でのジオパーク学習

【第1回】島根半島・宍道湖中海ジオパークの概要説明、フィールドワーク

日時：10月23日（水）10:30～11:15

会場：松江ビジターセンター、桂島

参加人数：25名

講師：野村専門員

【第2回】地質サイトでのフィールドワーク

日時：11月7日（木）10:30～11:15

会場：須々海海岸（松江市島根町）

参加人数：25名

講師：辻本 島根大学教育学部理科教育専攻准教授

- 16) 恵曇小学校6年生 理科学習補助

日時：10月25日（金）13:00～15:30

会場：千酌海岸

参加人数：17名

講師：野村専門員

- 17) 八東地区退職教員研修会 浦々を巡る
日時：10月28日（月）10:00～11:30
会場：松江ビジターセンターと桂島・須々美海岸
参加人数：15名
講師：野村専門員
- 18) 松江市白鹿・真山の自然と文化を育む会
日時：11月1日（金）10:30～11:30
会場：法吉公民館
参加人数：30名
講師：野村専門員
- 19) 出雲市灘分コミュニティーセンター ジオツアー
日時：11月7日（木）8:30～17:00
会場：松江市内の地質サイトなど
参加人数：30名
講師：野村専門員
- 20) 松江市立第四中学校1年生 松江市探訪インタビュー
日時：11月14日（木）13:45～14:15
会場：松江市役所
訪問生徒数：3組2班6名、5組2班6名
対応者：永田事務局員
- 21) 島根県立大学現地フィールドワーク
日時：11月15日（金）10:00～11:00
会場：須々海海岸（松江市島根町）
参加学生数：8名
対応者：入月 島根大学学術研究院環境システム科学系教授
- 22) 出雲国ジオガイドの会主催自然災害・防災研修会
日時：1月12日（日）9:30～12:00
会場：日御碕崩落現場、大社コミュニティーセンター
内容：①昨年7月の大雨による日御碕崩落現場の現地視察
講師：島根県職員
②召古ジオガイドと野村専門員による講演

5 関係団体の活動報告

(1) 島根大学

島根大学じげおこしプロジェクト「島根半島・宍道湖中海ジオパークの活動推進事業」に参加するメンバーが中心となりジオパークに関する活動を行なった。

じげおこしプロジェクト「島根半島・宍道湖中海ジオパークの活動推進事業」のメンバーは以下のようである。

入月俊明（代表者）	総合理工学部（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ジオ分野）
辻本 彰	教育学部（准教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ジオ分野）
大平寛人	総合理工学部（准教授）	推進協議会の依頼活動・研究活動（ジオ分野）
林 広樹	総合理工学部（教授）	研究活動による学術的側面の強化（ジオ分野）
酒井哲弥	総合理工学部（教授）	研究活動による学術的側面の強化（ジオ分野）
向吉秀樹	総合理工学部（准教授）	研究活動による学術的側面の強化（ジオ分野）
瀬戸浩二	エスチュアリー（准教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
齋藤文紀	エスチュアリー（特任教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
香月興太	エスチュアリー（准教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
広橋教貴	生物資源（教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
山口啓子	生物資源（教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
久保満佐子	生物資源（准教授）	研究活動による学術的側面の強化（エコ分野）
会下和宏	総合博物館（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ヒト分野）
飯野公央	法文学部（教授）	研究活動による学術的側面の強化（ヒト分野）
鶴永陽子	人間科学部（教授）	研究活動による学術的側面の強化（ヒト分野）
松本一郎	教育学部（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ヒト分野）
栢野彰秀	教育学部（教授）	推進協議会への参加・依頼活動・研究活動（ヒト分野）

大学としての成果(主に教育・研究活動等)

1. 島根大学でのジオパーク学

SDGsの内容を取り入れた講義と演習を以下のように行なった(*は学外非常勤講師)

1) ジオパーク学入門:前期 14回, 2単位(オムニバス), 全学年, 履修登録者 293名

- ① 4月8日, ガイダンスと概要(入月俊明)
- ② 4月15日, ジオパークの目的・背景(辻本 彰)
- ③ 4月22日, ジオパークとSDGs(松本一郎)
- ④ 4月30日, 日本のジオパーク(大平寛人)
- ⑤ 5月13日, 山陰のジオサイト・ジオパーク(林 広樹)
- ⑥ 5月20日, 汽水域の自然環境の変遷(瀬戸浩二)
- ⑦ 5月27日, 島根の海と生き物(山口啓子)
- ⑧ 6月3日, 宍道湖・中海の自然と生態系(國井秀伸*)
- ⑨ 6月10日, 島根の食文化と風土(鶴永陽子)
- ⑩ 6月17日, 伝統産業と風土(大庭卓也*)
- ⑪ 6月24日, 文学に見るジオの風景(小泉 凡*)
- ⑫ 7月1日, 出雲の風土と伝承(品川知彦*)
- ⑬ 7月8日, 古代遺産(遺跡)と風土(会下和宏)
- ⑭ 7月18日, ジオパークと地域振興・観光(野邊一寛*)

2) ジオパーク学各論:後期 14回, 2単位(オムニバス), ジオパーク学入門単位習得者, 履修登録者 83名

- ① 10月7日, ガイダンスと出雲地域の特徴とは(入月俊明)
- ② 10月15日, 出雲地方のジオサイト:島根半島とその周辺(酒井哲弥)

- ③ 10月21日, 出雲地方のジオサイト:中国山地とその周辺(辻本 彰)
- ④ 10月28日, 出雲地方の鉱産物資源と利用(大平寛人)
- ⑤ 11月6日, 出雲地方の自然災害(向吉秀樹)
- ⑥ 11月11日, 宍道湖・中海の動植物の特徴(國井秀伸*)
- ⑦ 11月18日, 出雲地方の動物群の特徴(佐藤仁志*)
- ⑧ 11月25日, 出雲地方の陸域植物の特徴(大谷修司*)
- ⑨ 12月2日, 出雲地方とその周辺域の第四紀の古環境(齋藤文紀)
- ⑩ 12月9日, 出雲地方の古代遺産(遺跡)と風土(会下和宏)
- ⑪ 12月16日, ジオパークと出雲風土記(平石 充*)
- ⑫ 12月23日, ジオパークと教育(松本一郎)
- ⑬ 1月6日, ジオパークと経済 (飯野公央)
- ⑭ 1月20日, ジオパークと地域振興・観光(召古裕士*)

3) ジオパーク学演習:前期集中実習2単位, ジオパーク学各論単位習得者, 履修登録者20名
担当:林 広樹, 入月俊明, 辻本 彰, 大平寛人, 松本一郎

- ① ガイダンス
- ② 島根半島宍道湖中海ジオパークについて(講義)
- ③ 加賀桂島ジオサイトの事前学習
- ④~⑥ 野外実習(1):加賀桂島ジオサイトとビジターセンター
- ⑦ 野外実習(1)の事後学習
- ⑧ ジオパークとSDGs
- ⑨~⑫ 体験活動その(1):八雲風穴
体験活動その(2):大根島溶岩洞窟
体験活動その(3):自己プロデュースによるジオサイト訪問
- ⑬ ジオパークを活用したSDGs活動の提案
- ⑭ まとめ:皆さんの企画の相互評価

4) 特別副専攻プログラムのジオパーク学プログラム2024年度修了者(予定):13名

2. 学生組織の活動

ジオパーク活動を支える学生組織の島根大学ジオパーク学生サポーター(SDGS)(代表:D3, 濱田真美, 大学院生8名と学部生7名)は今年度以下のような活動のサポートを行なった.

- 1) 「第21回身近な水環境の全国一斉調査」への参加, 6月2日
- 2) 「科学の祭典2024 科学の縁結び祭り」における, ものづくりブース「レプリカを作ろう! ~手のひらの上の島根半島・宍道湖中海ジオパーク~」企画, 出展, 7月27~28日
- 3) 松江市小波海岸における自然体験事業「海の学校」の補助スタッフ, 8月8, 10日
- 4) ジオパークの日記念イベント「つくって楽しいジオパーク!」の補助(ジオ和菓子作り体験, 貝殻アクセサリ作り体験, ジオパーク缶バッジ作り体験など), 8月24~25日
- 5) さくらサイエンスプログラム「島根半島・宍道湖中海ジオパークを利用した地質・ジオツーリズム交流プログラム ワークショップ」への参加, SDGS取り組み発表(英語), 11月23日

3. 一般向け講座・講演など

● メンバー個人

- 1) 入月俊明, 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2024年度ジオガイド養成講座「はじめの一步コース, 島根半島・宍道湖中海ジオパークとは?」の講師, 8月3日, JAしまね平田中央店, 対象: 市民一般.
- 2) 入月俊明, 島根半島四十二浦巡り再発見研究会主催の「島根半島の歴史文化再発見講演会」での講演, 11月10日, タイトル: 出雲神話・風土記の大地の成り立ち, 松江テルサ, 対象: 市民一般.
- 3) 入月俊明, 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2024年度ガイド養成上級講座「認定ガイドコース, ガイドで役立つ地形・地質・岩石の基本」の講師, 1月26日, JAしまね平田中央支店, 対象: はじめの一步コース修了者.
- 4) 入月俊明, 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の認定ガイド試験の問題作成.
- 5) 辻本 彰, 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2024年度ジオガイド養成講座「はじめの一步コース, フィールドワーク(日御碕)」の講師, 9月29日, 日御碕ビジターセンター, 対象: 市民一般.
- 6) 辻本 彰, 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の認定ガイド試験の審査員, 2月22日, 2月23日, 松江市市民活動センター・JAしまね 平田中央支店, 対象: ガイド養成講座修得者.
- 7) 松本一郎, 大東町春江地区での防災講演とワークショップの実施, 4月21日, 雲南市養賀下組公民館, 対象: 市民一般.
- 8) 松本一郎, 大東町春江地区での防災講演とワークショップの実施, 4月21日, 春殖交流センター, 対象: 市民一般.
- 9) 松本一郎, 再生可能エネルギーをはじめとするエネルギーに関する講演, 8月1日, サンラポーむらくも会館, 対象: 松江環境しみん会議の専門委員と賛助会員.
- 10) 松本一郎, 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2024年度ジオガイド養成講座「はじめの一步コース, ジオパークの理念と保護保全」の講師, 8月3日, JAしまね平田中央店, 対象: 市民一般.
- 11) 松本一郎, まつえ環境市民会議主催「恵曇海岸清掃活動と講演(海の科学と気候変動)」, 8月17日, 恵曇海岸・公民館, 対象: 市民一般.
- 12) 柳田菜緒・高橋杏実・山崎幸乃・松本一郎, 出雲科学館主催「科学の縁結び祭り」(自然界における酸化・還元反応などについての講話と実験)の講師, 7月28日, 29日, 出雲科学館, 対象: 小学生高学年～中・高校生.
- 13) 天野雄大・松本一郎, 出雲科学館主催「科学の縁結び祭り」(フィールドジオロジー・植物分類学)の講師, 7月28日, 29日, 出雲科学館, 対象: 小学生高学年～中・高校生.
- 14) 松本一郎, 出雲科学館主催理科教員向け研修「+1理科講座」での斐伊川巡検, 対象: 出雲市の小・中・高等学校の理科教員.
- 15) 酒井哲弥・入月俊明 さくらサイエンスプログラム「島根半島・宍道湖中海ジオパークを利用した地質・ジオツーリズム交流プログラム」の実施 対象: ネパール・トリブバン大 教員2名, 大学院生7名 日本人学部生2名, 大学院生4名 11月19日～25日
- 16) 瀬戸浩二, 島根大学エスチュアリー研究センター 中海分室 地元講演会, 7月27日, タイトル: 中海の泥の色の話, 八束公民館, 対象: 市民一般.
- 17) 会下和宏, 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催の2024年度ジオガイド養成講座「はじめの一步コース, 国引き神話と文化サイト」の講師, 8月24日, 松江市市民文化センター, 対象: 市民一般.
- 18) 会下和宏, 島根大学公開講座「第18回島根まるごとミュージアム体験ツアー - 出雲市多伎町・大田市臨海部の「たたら」石見銀山」関連遺跡をめぐる -」の講師, 10月26日, 出雲市多伎町田儀櫻井家たたら製鉄遺跡など, 対象: 市民一般.
- 19) 山口啓子, 全国湖沼河川養殖研究会第96回大会講師: シンポジウム(「次世代につなげる内水面漁業」

～内水面漁業における資源管理～)発表題目「ヤマトシジミ幼生の塩分選択実験とエスチュアリー循環を利用した幼生の挙動」9月4日松江市

- 20) 山口啓子, 中海宍道湖技術研修会講師:発表題目「耳石を利用したスズキの回遊履歴解読」
- 21) 向吉秀樹, 放送大学島根学習センターにおける授業「山陰地域の内陸地震と活断層」の講義講師および巡検案内人, 5月18日～19日, スティックビル, 島根半島, 対象:上記授業受講者.
- 22) 向吉秀樹, 島根県砂防ボランティア協会研修会における山陰地域の地震の特徴に関する講演会講師, 7月16日, サンラポーむらくも, 対象:島根県砂防ボランティア協会会員.
- 23) 向吉秀樹, 出雲市建設業協会研修会における山陰地域の地震の特徴に関する講演会講師, 9月17日, 出雲市建設業協会研修室, 対象:出雲市建設業協会会員.
- 24) 向吉秀樹, 松江北高校PTA研修会における山陰地域の地震の特徴に関する講演会講師, 10月6日, くにびきメッセ, 対象:松江北高校保護者, 教職員.
- 25) 齋藤文紀, 第19回安来市歴史文化講座「歴史を動かした気候変動—過去数千年間の寒冷化と温暖化—」の講演, 9月28日, 和鋼博物館, 対象:市民一般

4. 小・中・高・他大学等の学校教育

● メンバー個人

- 1) 入月俊明・大平寛人, 松江南高校探求科学科校外研修「島根半島の地質」の講師, 9月12日, 松江南高校, 松江市島根町桂島, 対象:松江南高探求科学科1年生生徒.
- 2) 入月俊明, ジオパーク授業の講師, 11月1日, 松江ビジターセンター, 対象:松江市立持田小学校6年生児童.
- 3) 入月俊明, 教員養成のための野外実習の講師, 11月15日, 須々海海岸, 対象:島根県立大学保育教育学科の学生
- 4) 辻本 彰, しまだいジュニアドクター育成塾「桂島の秘密を探ろう」の講師, 6月9, 16日, 対象:小学校5年生児童～中学校2年生の生徒.
- 5) 辻本 彰, 松江市教育委員会研理科部研修会「小学校6年生「土地のつくりと変化」の授業づくり研修会」の講師, 7月26日, 松江市美保関町千酌, 対象:松江市小学校教員.
- 6) 辻本 彰, 意宇川における川学習の事前学習講師, 9月6日, 対象:松江市立津田小学校5年生児童.
- 7) 辻本 彰, 意宇川における川学習の事前学習講師, 9月12日, 対象:松江市立乃木小学校5年生児童.
- 8) 辻本 彰, 意宇川における川学習の講師, 9月13日, 対象:松江市立津田小学校5年生児童.
- 9) 辻本 彰, 千酌海岸における地層学習の講師, 9月30日, 対象:松江市立津田小学校6年生児童.
- 10) 辻本 彰, 千酌海岸における地層学習の講師, 10月1日, 対象:松江市立内中原小学校6年生児童.
- 11) 辻本 彰, 小伊津海岸における地層学習の講師, 10月9日, 対象:出雲市今市小学校6年生児童.
- 12) 辻本 彰, 千酌海岸における地層学習の講師, 10月15日, 対象:松江市立竹矢小学校6年生児童.
- 13) 辻本 彰, 意宇川における川学習の講師, 10月16日, 対象:松江市立竹矢小学校5年生児童.
- 14) 辻本 彰, 斐伊川における川学習の講師, 10月17日, 対象:松江市立恵曇小学校5年生児童.
- 15) 辻本 彰, 意宇川における川学習の講師, 10月31日, 対象:松江市立川津小学校5年生児童.
- 16) 辻本 彰, 意宇川における川学習の講師, 11月6日, 対象:松江市立忌部小学校5年生児童.
- 17) 辻本 彰, オンライン学習支援「ボタンねっと」の地層学習の講師, 11月7日, 対象:松江市内の小学5年生から中学3年生.
- 18) 辻本 彰, 小伊津海岸における地層学習の講師, 11月8日, 対象:松江市法吉小学校6年生児童.
- 19) 辻本 彰, 千酌海岸における地層学習の講師, 11月21日, 対象:松江市立八雲小学校6年生児童.
- 20) 辻本 彰・瀬戸浩二, ジュニアドクター育成塾「湖底堆積物物から中海の様子を探ろう」, 11月16日, 17日,

中海, 対象:ジュニアドクター育成塾生

- 21) 松本一郎, 泥団子保育実践・地球科学紙芝居(ホワイトボードお絵描き)の講師, 5月13日, 対象: 島根大学教育学部附属幼稚園の年長組の園児.
- 22) 松本一郎, 地質調査・巡検を実施する際の安全対策・安全教育の講師, 6月4日, 対象: 島根大学教育学部地学部(任意地学教育サークル)の学生.
- 23) 松本一郎, 島根半島ブルーツアー「SDGsポスターをつくろう」の巡検講師(松江市SDGs推進課), 7月15日, 対象: 松江市の小学校高学年児童.
- 24) 松本一郎, 泥団子に関わる地球科学と泥団子保育に関する講演, 8月22日, 島根大学教育学部附属幼稚園, 対象: 松江市の幼稚園・保育所の教員.
- 25) 松本一郎, SDGsと自然環境・人権についての特別授業, 9月11日, 古志原小学校, 対象: 古志原小学校の4年生の児童.
- 26) 松本一郎, 島根半島(千酌海岸)を活用した地学野外学習の講師, 9月24日, 対象: 松江市立八束学園6年生児童.
- 27) 松本一郎, 松江市意宇川を活用した地学野外学習の講師, 9月25日, 対象: 松江市立八束学園5年生児童.
- 28) 松本一郎, 泥団子保育実践・地球科学紙芝居(ホワイトボードお絵描き)の講師, 9月27日, 対象: 松江市中央小学校と中央幼稚園の1年生児童と年長組園児.
- 29) 松本一郎, 斐伊川を活用した川学習の講師1回目, 10月13日, 対象: 出雲市の小学校5・6年生と中学生(出雲科学館主催).
- 30) 松本一郎, 斐伊川河川敷と島根半島でのジオ学習の講師, 10月16日, 対象: 松江市宍道小学校の5・6年生児童.
- 31) 松本一郎, 島根半島(出雲市小伊津海岸)を活用した地学野外学習の講師, 10月17日, 対象: 松江市立古江小学校・大野小学校・秋鹿小学校(3校合同)6年生児童.
- 32) 松本一郎, 斐伊川水系(宍道湖-中海-斐伊川)を活用した地学野外学習の講師, 10月22日, 対象: 松江市立古志原小学校5年生児童.
- 33) 松本一郎, 島根半島(須々海海岸と桂島)を活用した地学野外学習の講師, 10月23日, 対象: 安来市安田小学校6年生児童.
- 34) 松本一郎, 来待川と島根半島(出雲市小伊津海岸)を活用した地学野外学習の講師, 10月28日, 対象: 松江市立来待小学校5・6年生児童.
- 35) 松本一郎, 島根半島(出雲市小伊津海岸)を活用した地学野外学習の講師, 10月29日, 対象: 松江市立川津小学校6年生児童.
- 36) 松本一郎, 島根半島(須々海海岸と桂島)を活用した地学野外学習の講師, 11月5日, 対象: 松江市朝酌小学校6年生児童.
- 37) 松本一郎, 島根半島(出雲市小伊津海岸)を活用した地学野外学習の講師, 11月7日, 対象: 松江市揖屋小学校6年生児童.
- 38) 松本一郎, 斐伊川水系(宍道湖-中海-斐伊川)を活用した地学野外学習の講師, 11月25日, 対象: 出雲市立灘分小学校5年生児童.
- 39) 松本一郎, 斐伊川水系(宍道湖-中海-斐伊川)を活用した地学野外学習の講師, 12月9日, 対象: 出雲市立高松小学校5年生児童.
- 40) 山口啓子・松田烈至, しまだいジュニアドクター育成塾、ジュニアドクター指導: 研究題目「行動変化で評価した汽水産と淡水産ミナメダカの塩分順応」
- 41) 山口啓子: 松江南高校 2年探求科学科の課題研究指導「浅瀬に生息しているシジミの最適な環境について」

て」

- 42) 向吉秀樹, 松江東高等学校3年生(195名)を対象とした講演会「山陰地方の地震活動の特徴」の講師, 2月5日, 松江東高校, 対象:松江東高3年生生徒.

5. その他の活動, 委員会参加, 広報関係など

- 1) 入月俊明, 観光庁「地方における高付加価値インバウンド観光地づくり」に係る説明会・勉強会への参加, 4月20日, 松江テルサ
- 2) 入月俊明, 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会, 総会1回, 学部部会2回, 幹事会1回, 事務局会4回,
- 3) 辻本 彰, 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会, 総会1回, 保全教育部会2回, 幹事会1回, 事務局会4回
- 4) 松本一郎, 石見銀山遺跡整備検討委員会への参加・協議, 8月8日, 大田市役所.
- 5) 会下和宏, 島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会, 保全・教育部会2回
- 6) 酒井哲弥 出雲市災害復興活動展・国際シンポジウム 現地視察の案内者およびシンポジウムのモデレーター 現地視察は斐伊川とその周辺ほか 参加者 外国人パネラー・NPO 法人全国災害復興活動支援機構関係者ほか7名 5月18日

(2) 出雲国ジオガイドの会

竜溪洞ガイド 参加者数: 968名

(3) 出雲観光協会

1) ①日御碕定時ガイド

参加者数: 89名

②日御碕予約ガイド

参加者数: 満喫コース9組169名

神話コース4組48名

2) みんなで学べる日御碕の旅イベント

日時: 3月20日(木) 10:00~13:00

会場: 日御碕コミュニティセンター

内容: ①日御碕の海の中をのぞいてみよう

講師: アクア工房 岡本 氏

②日御碕近郊のお魚がおいしいのはなぜだろう?

講師: 渡邊ジオガイド

(4) 松江市公民館

1) 八束公民館

①昆虫学者 小松貴氏 講演会「めくるめく洞窟の生き物たち・大根島への道」

実施日: 5月25日(土)

主催: 絵地図による大根島の魅力発信プロジェクトチーム

参加人数: 20名

②公民館報「八束のひろば」32号

座談会「大根島の洞窟の有効利用に向けて」掲載

詳細は、八束公民館HPよりご覧ください▼

<https://matsue-city-kouminkan.jp/yatsuka/otayori/doc/2021012100043/>

発行：令和6年8月発行

③松東ブロック館長・職員研修「ジオガイドによる竜溪洞ガイド」

松東ブロック内の公民館の館長・職員の研修会を開催した。その際、出雲の国ジオガイドの会へガイドを依頼した。

実施日：12月4日（水）、12月13日（金）

当番館：八束公民館

参加人数：12月4日…12名、12月13日…12名

④昆虫学者 小松貴氏 講演会「日本の昆虫・ふしぎでたいせつな宝物」

八束学園4年生と住民への講演会。講演の中で竜溪洞の昆虫についても触れた。また、講演会の前日・当日には江島の井戸ポンプ及び竜溪洞にて地下生物の採集調査を行われた。

実施日：2月4日（火）

主催：八束公民館

参加人数：50名

(5) 出雲市コミュニティセンター

1) 灘分コミュニティセンター

日時：12月7日（土）

内容：地域防災学習～島根半島・宍道湖中海ジオパーク～

講師：野村専門員

参加者数：14名

(6) 出雲科学館

1) 出雲科学館講演会「鉄といのちの物語 謎とき風土サイエンス」

日時：10月26日（土）13：30～15：30

会場：出雲科学館

講師：長沼 広島大学大学院統合生命科学研究科教授

2) 小中学校理科学習

①小学5年生「流れる水のはたらき」 3単位時間（45分×3）

日程：10月8日～10月21日 61学級 1,536名

②中学1年生「火をふく大地」 3単位時間（45分×3）

日程：2月3日～2月14日 51学級 1,429名

3) 理科教員を対象とした地質研修（フィールドワーク）

日時：8月2日 9:00～17:00 参加人数 22名

講師：島根大学教育学部 教授 松本一郎 氏

内容：斐伊川河川敷公園→天が渚公園→船通山入口→鳥上木炭銑工場・棚田

4) 生涯学習事業

①子ども科学学園でのフィールドワーク学習

「大地の成り立ちがわかる！斐伊川学習～ダイナミックな時間旅行～」

対象：小学5年生～中学生

参加者：10月13日 15名 10月20日 20名

講師：島根大学教育学部 教授 松本一郎 氏

内容：斐伊川の下流域から上流域にかけて、バス移動をしながらその場所の特徴や今の地形となった背景などを学ぶ。

(7) モニュメントミュージアム来待ストーン

1) 第19回来待ストーンの集い「石が語る出雲国の物語」

日時：9月15日（日）14:00～

会場：来待ストーンミュージアム フリースペース

講師：澤田順弘氏（島根大学名誉教授）

2) 宍道化石シンポジウム

主催：松江市宍道公民館運営協議会・モニュメントミュージアム来待ストーン

日時：2月22日（土）10:00～15:30

会場：来待ストーンミュージアム

内容：①シンジウキエソ特別ワークショップ

「来待石にシンジウキエソを描いてみよう」「シンジウキエソを食べてみよう」

②基調講演

講師：藪本 北九州市自然史・歴史博物館名誉館員
野村専門員

(8) 海の楽校

1) 環境楽習会

【第1回】

日時：11月24日（日）13:30～15:30

会場：海の楽校

内容：講演等「小波海岸の微小貝から島根半島の素晴らしさと不思議を発見」

【第2回】

日時：12月22日（日）13:30～15:30

会場：島根公民館

内容：講演「歴史や文化に彩られた出雲国は何故栄えたか発見」

講師：召古ジオガイド

【第3回】

日時：1月25日（土）13:30～15:30

会場：島根公民館

内容：講演「島根町と神話の関わり」と「日本海のお不思議」を発見

講師：召古ジオガイド、神話の案内人 江角 氏

(9) 出雲市生涯学習講座

出雲国ジオパーク体験ツアーin 荒木～八通山林から始まった荒木浜開拓～

日時：11月6日（水）13:30～16:30

会場：荒木地区

荒木コミセン、大梶七兵衛像、大梶神社、湊社、荒木浜、移住者のお墓、知西寺、恵比須神社

受講者数：16名

(10) その他団体

1) 山陰中央新報社文化センター文化講座「ミステリアス島根半島四十二浦巡り・ジオパーク探訪」

主催：山陰中央新報社文化センター

共催：島根半島四十二浦巡り再発見研究会

日程：令和6年10月～令和7年12月（座学・全15回、毎月第3土曜開催）

会場：文化センター松江教室（松江市殿町 山陰中央ビル4、5階）

受講料：3講義分6,600円

講師：飯塚一畑薬師管長、木幡研究会事務局長、野村専門員、三代・服部・寺本ジオガイド他

(11) 清掃活動

1) 宍道湖（・中海）一斉清掃（県関係自治体地元住民活動）（宍道湖周辺）

実施日6月9日（日）

①松江市 参加者1,720名、ごみ回収量約6.5t

②出雲市 参加者562名、ごみ回収量約1.1t

2) 海岸清掃事業（市民団体活動への助成）（稲佐の浜ほか島根半島海岸）

①松江市 実施回数176回、参加者のべ4,075名、ゴミ処理量約33.4t

②出雲市 実施回数111回、参加者のべ5,834名、ゴミ処理量約43t

(12) 築地松広報活動・保全活動

1) 広報事業

①広報誌発行（7,000部）、HPでのPR、サービスエリアでのパンフレット配布
ボランティアガイド（築地松案内人）2名：R6案内実績10件（約81名）

②出雲平野の築地松景観フォトコンテスト

募集期間：令和5年12月1日～令和6年12月2日

応募者44名、作品数92点（うち組写真11点）、写真数112枚

審査委員会：1月20日（最優秀賞1点、優秀賞5点、特別賞3点、入選15点）

表彰式：2月19日

入賞作品パネル展示：2月19日～3月30日（出雲市役所⇒道の駅湯の川⇒平田図書館⇒県民会館）

2) 保全事業

築地松景観保全住民協定締結 152 協定、3,190 名、3,081.82ha

住民協定助成金交付 284 件

陰手刈り技術研修会 講師 4 名 受講者 10 名

松苗配布 135 本 (配布人数 30 名) 《前年度 102 本、26 名》

(13) 養浜事業、海岸植物保全事業

1) 菌の長浜土砂管理計画に基づく養浜 (県事業)

西部農林水産振興センターは、施工している漁港浚渫で発生した砂を用いて、出雲市西園地区外園海岸における浸食防止対策を目的とした養浜を実施している。

また、外園海岸の養浜効果検証を行うため、養浜効果モニタリング業務を島根県出雲県土整備事務所が実施している。

2) 外園海岸「ハマボウフウ」の保全・育成活動 (出雲農林高校)

出雲市長浜地区の「外園海岸」(全長約 4 キロ)で、地域住民と出雲農林高校、県、市が共同して海浜植物「ハマボウフウ」の増殖計画を進めている。毎年、地域住民、出雲農林高校、長浜小学校、県、市で現地に植え付けを実施している。

この活動は、地域住民を中心に、出雲農林高校、長浜小学校の協力を得て、近年大幅に減少しているハマボウフウの保護による環境保全と、食用としても珍重されるハマボウフウの特産化を目指し実施されている。

実施日：9 月 19 日 (木)

参加者：島根県出雲県土整備事務所、出雲農林高校、長浜小学校、
長浜地区自治協会、長浜コミュニティセンター、出雲市

参加者数：84 名